

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みずのき吉野校			
○保護者評価実施期間	令和8年1月4日		～	令和8年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○従業者評価実施期間	令和8年1月4日		～	令和8年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月19日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが「できた!」と感じられる経験を大切にしており、自信を持って活動に取り組めるようになっていきます。小さな成功を積み重ねることで、挑戦する気持ちや前向きな姿勢が育ってきています。	活動内容を子ども一人ひとりに合わせて調整し、無理なく取り組める段階から始めています。できた時にはすぐに具体的にほめることで、「またやってみよう」という気持ちにつながるよう関わっています。また日々の様子を記録し、支援内容の見直しに活かしています。	その子に合った励まし方や関わり方を職員同士で共有し、より意欲が高まる支援ができるよう工夫を続けていきます。
2	職員同士の連携が取れており、どの職員が関わっても同じ方針で支援ができています。そのため子どもたちが安心して過ごせる環境になっています。	毎日の引き継ぎや話し合いの時間を大切に、子どもの様子や変化を細かく共有しています。対応方法を皆で確認することで、関わり方に差が出ないようにしています。	子どもの行動の理由や背景をより深く理解できるよう話し合いを重ね、その子に合った関わり方をさらに増やしていきます。
3	子どもたちが落ち着いて安心して過ごせる環境づくりができています。そのため活動に参加しやすく、気持ちも安定しやすい様子が見られます。	一日の流れを分かりやすく示したり、見通しが持てるような工夫をしています。また、注意する声かけよりも「こうするといよいよ」と分かりやすく伝えることを心がけています。	環境づくりのポイントを職員全員で共有し、誰が対応しても同じ安心感を感じられるようにしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員全体で協力しながら支援を行っていますが、経験年数や学んできた内容の違いにより、支援の理解や対応方法に少し差が見られることがあります。	福祉や療育の分野は学ぶ内容が幅広く、知識や経験は日々の積み重ねによって深まっていくため、職員それぞれの成長段階の違いが影響しています	定期的な研修や事例共有の時間を設け、支援方法や考え方を職員全体で学び合う機会を増やしています。また、日常的に相談しやすい雰囲気づくりを大切に、迷った時にはすぐに話し合える体制を整えています。今後も事業所全体の支援力を高め、どの職員が関わっても安心して過ごせる環境づくりを目指していきます。
2	お子さまの様子や支援内容は丁寧にお伝えするよう心がけていますが、説明の仕方や言葉遣いに職員ごとの違いが出ることがあります。	説明経験の差や伝え方の得意不得意により、同じ内容でも分かりやすさに差が生まれてしまう場合があります。	説明内容の共通ポイントを整理し、どの職員が対応しても同じように分かりやすくお伝えできるよう取り組んでいます。また、伝え方の振り返りや練習を行い、保護者の方の立場に立った説明ができるよう意識を高めています。今後も、安心して相談していただける関係づくりを大切にしていきます。
3	現在もさまざまな活動を行っていますが、子どもたち一人ひとりの興味や関心にさらに幅広く応えられるよう、活動内容をより充実させていく必要があると考えています。	日々の支援を丁寧に行うことを優先しているため、新しい活動を考えたり準備したりする時間が十分に取れない場合があります。	年間計画を立てて活動づくりを進め、担当で新しい活動の企画・準備を行う体制を整えています。また、子どもたちの「好き」「得意」「やってみよう」という気持ちを大切に、それらを取り入れた活動を増やしていきます。今後も楽しみながら成長できる環境づくりを進めていきます。